

令和3年6月15日

＜比田勝小学校で水産教室を開催しました＞

6月11日に、比田勝小学校5年生20名、豊小学校5、6年生4名を対象とした水産教室が上対馬町漁協青壮年部等の協力によって開催されました。同校では、例年この時期に西泊海水浴場（なや浜）でのヒラメの放流と、教室での「ヒラメについて」の講話を実施していますが、今回は魚捌きも併せて実施したいとの要望があり、ボリュームのある水産教室となりました。

午前は、少々の雨天にも関わらず、子供たちは楽しそうにバケツを持って波打ち際へ向かい、ヒラメを放流しました。放流後もヒラメを探すなど、浜辺には賑やかな声が響いていました。

午後は、「ヒラメについて」の講話と魚捌きを2班に分かれて交代制で実施しました。

講話では、センターからヒラメの特徴や成長、資源管理の考え方、対馬で獲れる魚などについて説明しました。質問タイムでは、子供たちから「狙った魚じゃないものでどんなものが獲れるの?」「どんな漁をしているの?」などの質問があり、青壮年部員から詳しくお話していただきました。

魚捌きでは、獲れたてのケンサキイカを準備し、青壮年部から捌き方を説明しました。子供たちは、ケンサキイカの捌き方を青壮年部員のフォローを受けながら実践し、まな板がイカ墨で黒くなりながらも頑張っている様子が見られました。

なお、水産教室が閉会した後に、PTA主催で料理教室を開催し、ケンサキイカはバター焼きに料理したそうです。子供たちはとても楽しかったようで、学校や保護者からは、ぜひ来年も魚捌きまで入れて開催して欲しいとの要望があります。今後も地域のニーズに応えながら、水産業・魚食に興味を持っていただけるような水産教室に取り組んでいきます。



大きく育てね



レンコダイとかも獲れるよ



墨袋に気をつけて・・・



上手に捌けるかな?